



イノベーションで先へ行く!走れ!未来へ
ON THE RUN!

エラストマーで新事業の領域へ。
そこは時代の少し先にあります。

●医療機器・ヘルスケア機器 ●電子資材 ●新ソリューション

2020年3月期 決算概要

2020年5月12日

バンドー化学株式会社

I . 2020年3月期 決算概要

II . 2021年3月期 業績予想

I . 2020年3月期 決算概要

2020年3月期 決算ハイライト



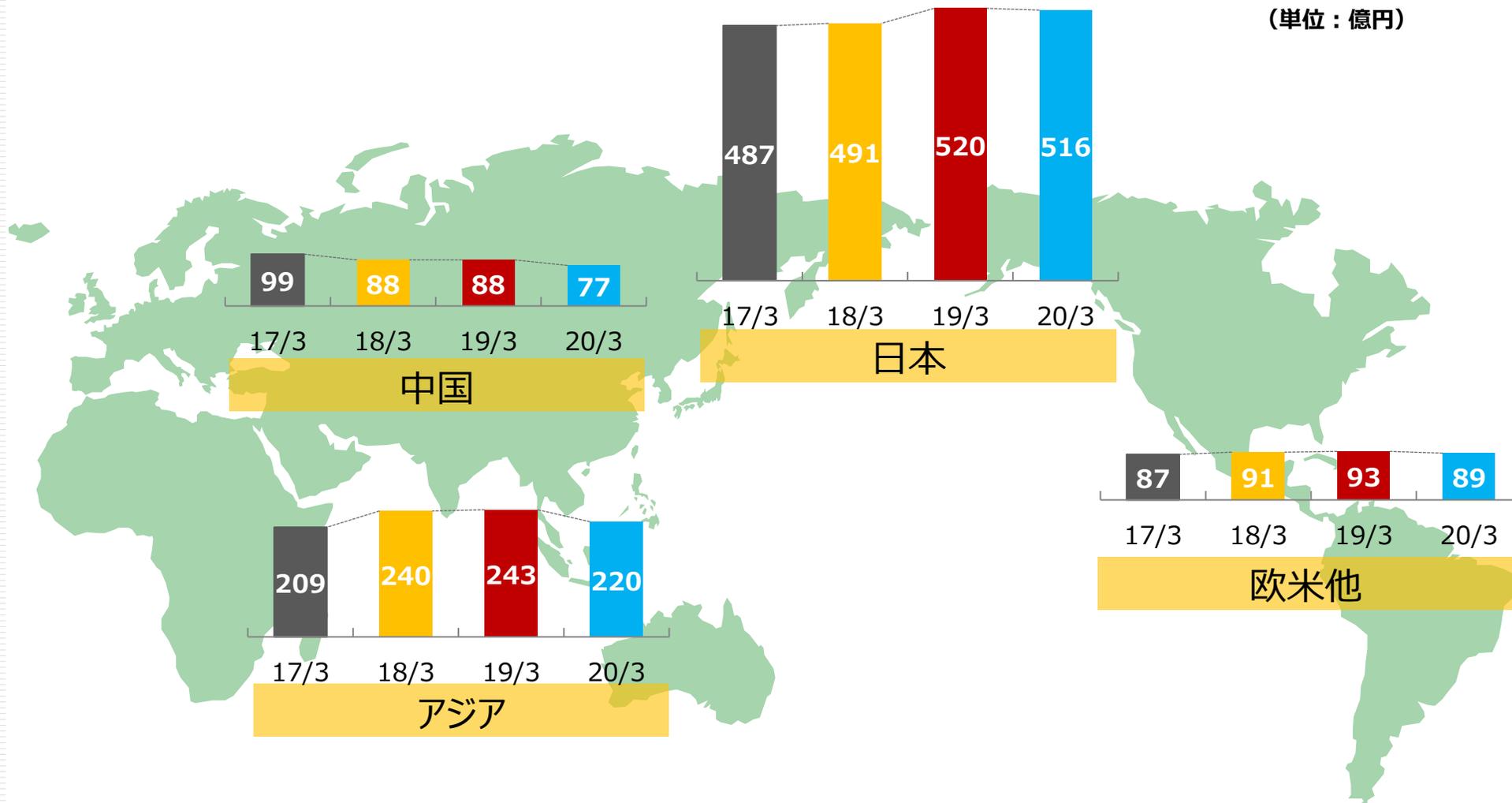
(百万円)

	2019/3	2020/3		2020/3業績予想	
	実績	実績	前期比	2019.8.9 公表	2020.4.24 修正
売上収益	94,318	90,247	△4,070	93,000	90,000
コア営業利益	6,503	5,252	△1,250	6,000	5,000
営業利益	6,815	2,056	△4,758	6,000	2,000
税引前当期利益	7,166	2,095	△5,071		
親会社の所有者に帰属する当期利益	5,457	682	△4,774	4,500	500

- 売上収益は、米中貿易摩擦や新型コロナウイルスの感染拡大による世界的な景気減速などの影響を受け、海外を中心に減収となった。
- コア営業利益は、株式会社Aimedic MMTの新規連結による増益要因があったものの、既存事業において、減収およびセールスマックスの変動による売上原価率の悪化により、減益となった。
- 営業利益および親会社の所有者に帰属する当期利益は、コア営業利益の悪化に加え、株式会社Aimedic MMTの取得時に発生したのれんの一部に係る減損損失（△3,274百万円）およびリスク分担型企業年金への移行損（△447百万円）などの一時的な損失の計上により、減益となった。
 - IFRSでは、のれんに対して、企業の将来キャッシュ・フローに基づき、資産の回収可能価額を算出し、回収可能価額が資産の帳簿価額を下回った場合に減損処理する減損テストを每期実施する。株式会社Aimedic MMTの主力製品の償還価格が2020年4月以降の今後2年間で大きく下落することが確実となったこと、および新製品開発の進捗などを保守的に見直したことで将来キャッシュ・フローを再算定した結果、上記の減損損失を計上するに至った。

2020年3月期 所在地別売上収益

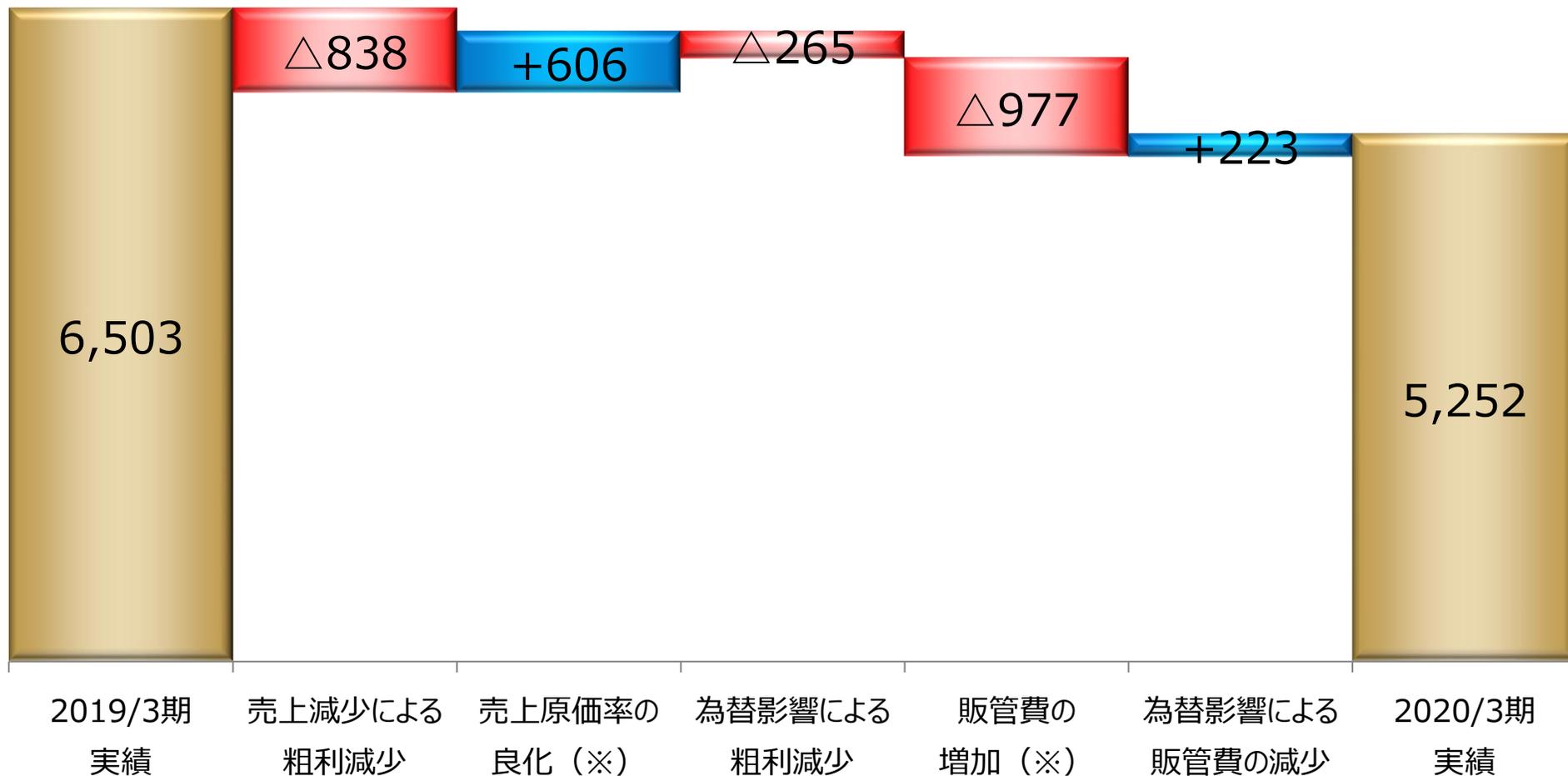
(単位：億円)



(注)所在地別売上収益はセグメント間取引消去後。

2020年3月期 連結コア営業利益 増減分析

(単位：百万円)



※ 株式会社Aimedica MMTを除く既存事業においては、売上原価率は悪化（利益減）し、販管費は減少（利益増）しております。

2020年3月期 セグメントの状況



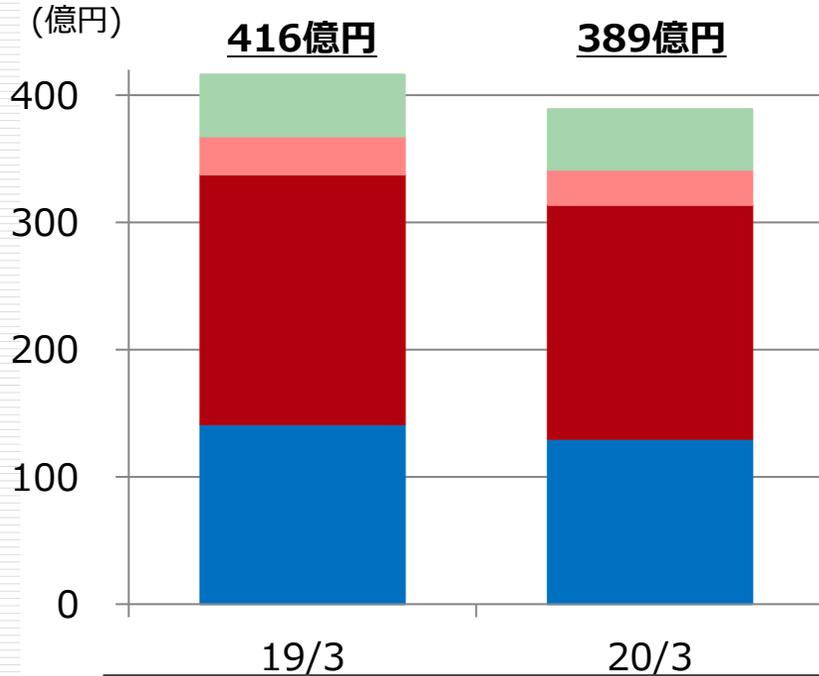
(百万円)

	2019/3	2020/3		
	実績	実績	増減額	増減割合
売上収益	94,318	90,247	△4,070	△4.3%
自動車部品事業	41,650	38,953	△2,697	△6.5%
産業資材事業	35,424	32,765	△2,659	△7.5%
高機能エラストマー製品事業	14,627	13,685	△941	△6.4%
その他	3,880	5,575	+1,694	+43.7%
セグメント間消去	△1,264	△731	+532	-
コア営業利益	6,503	5,252	△1,250	△19.2%
自動車部品事業	3,182	2,129	△1,052	△33.1%
産業資材事業	2,141	2,195	+53	+2.5%
高機能エラストマー製品事業	617	333	△283	△45.9%
その他	530	595	+64	+12.2%
セグメント間消去等	31	△1	△33	-

自動車部品事業 概要

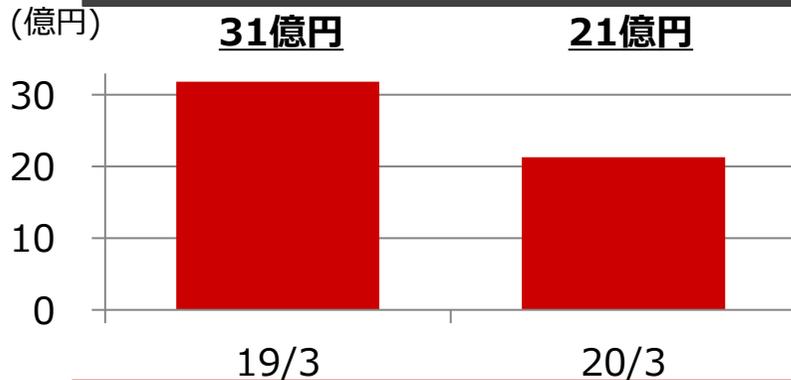


所在地別売上収益



- 欧米他 (△2.1%)**
 - 米国において積極的な顧客開拓に注力したことにより、補修品の販売は増加したものの、米国における自動車生産台数の減少により販売が減少。
- 中国 (△6.8%)**
 - 積極的な顧客開拓に注力したことにより、補修品の販売が増加したものの、主要顧客の生産台数の減少により販売が減少。
- アジア (△6.4%)**
 - タイにおいて補機駆動用伝動ベルトおよび伝動システム製品の販売が減少。
 - インドにおいてスクーター用変速ベルトの販売が減少。
- 日本 (△8.2%)**
 - 自動車メーカー向け補機駆動用伝動ベルトおよび伝動システム製品の販売が減少。

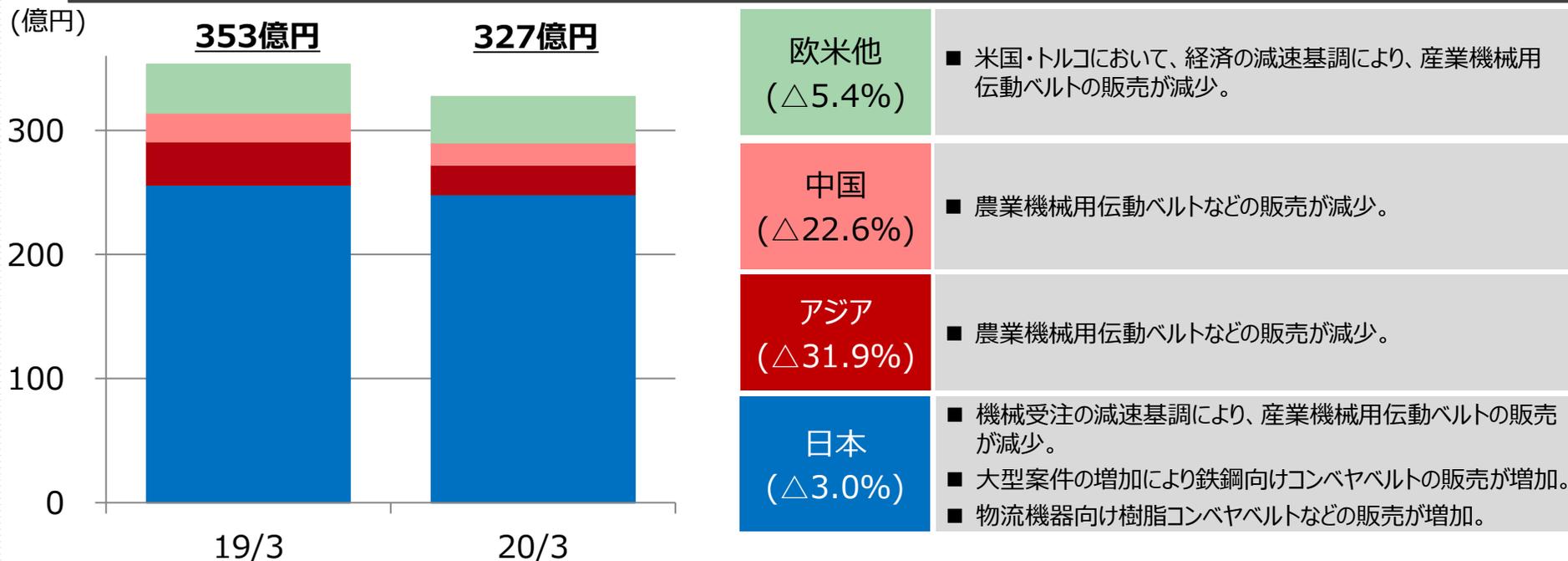
コア営業利益



- コア営業利益 (△33.1%)**
 - 販売の減少により、利益が減少。

産業資材事業 概要

所在地別売上収益

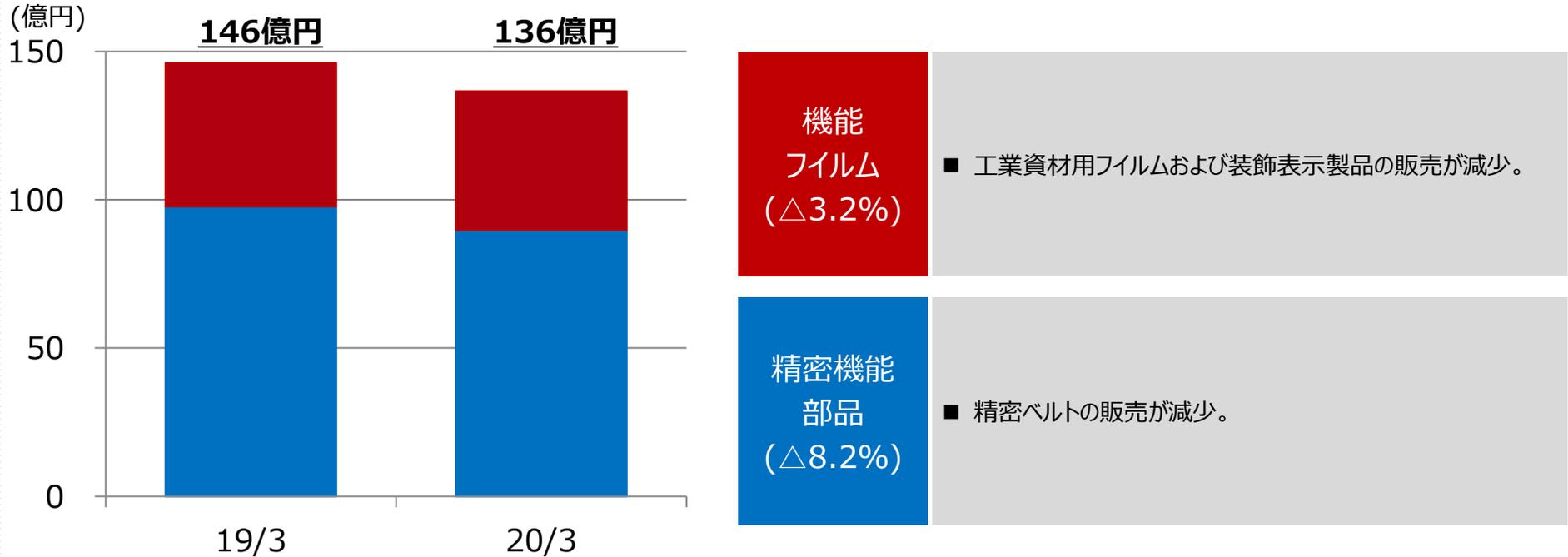


コア営業利益



高機能エラストマー製品事業 概要

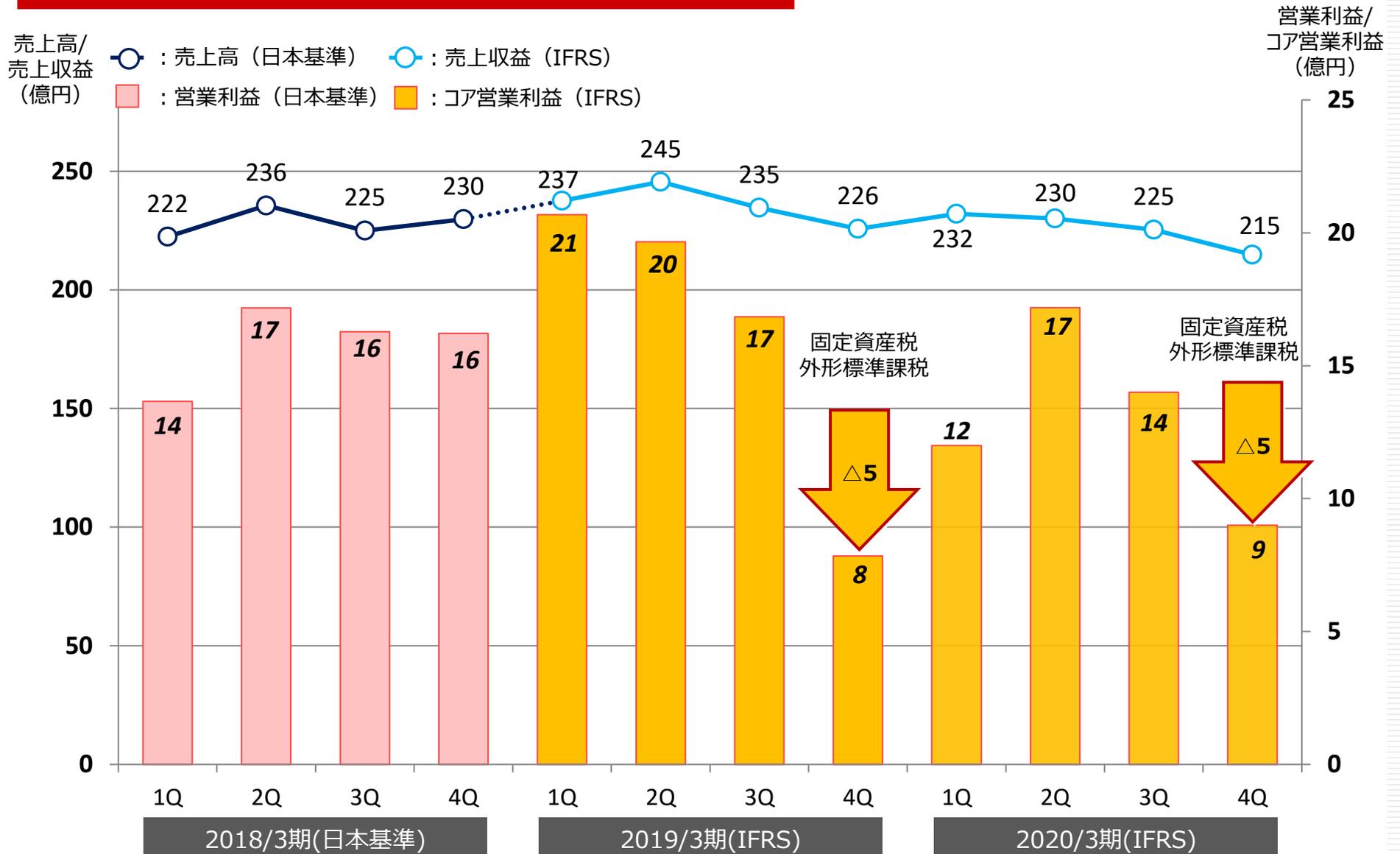
事業別売上収益



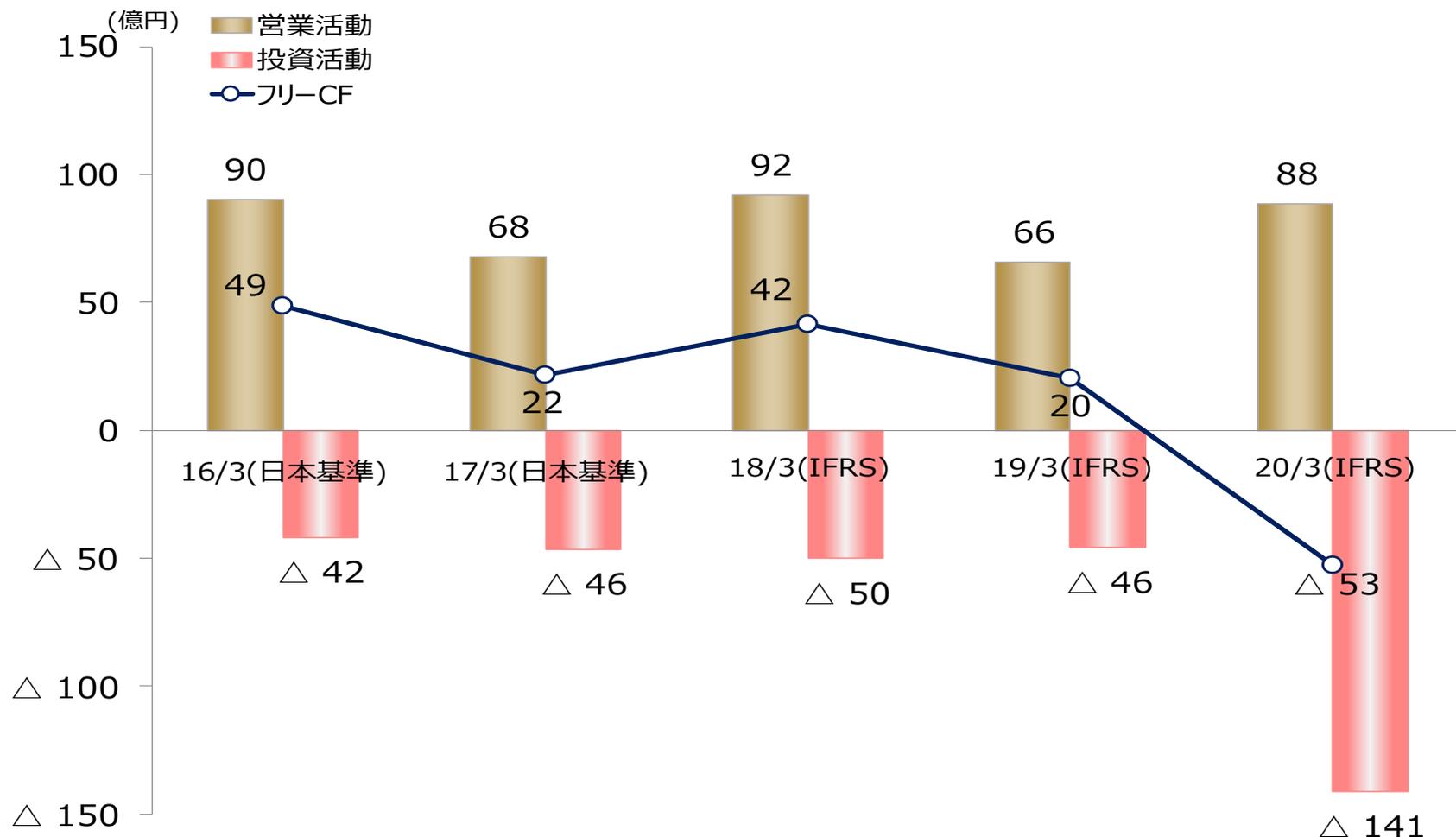
コア営業利益



四半期推移 (売上収益/コア営業利益)

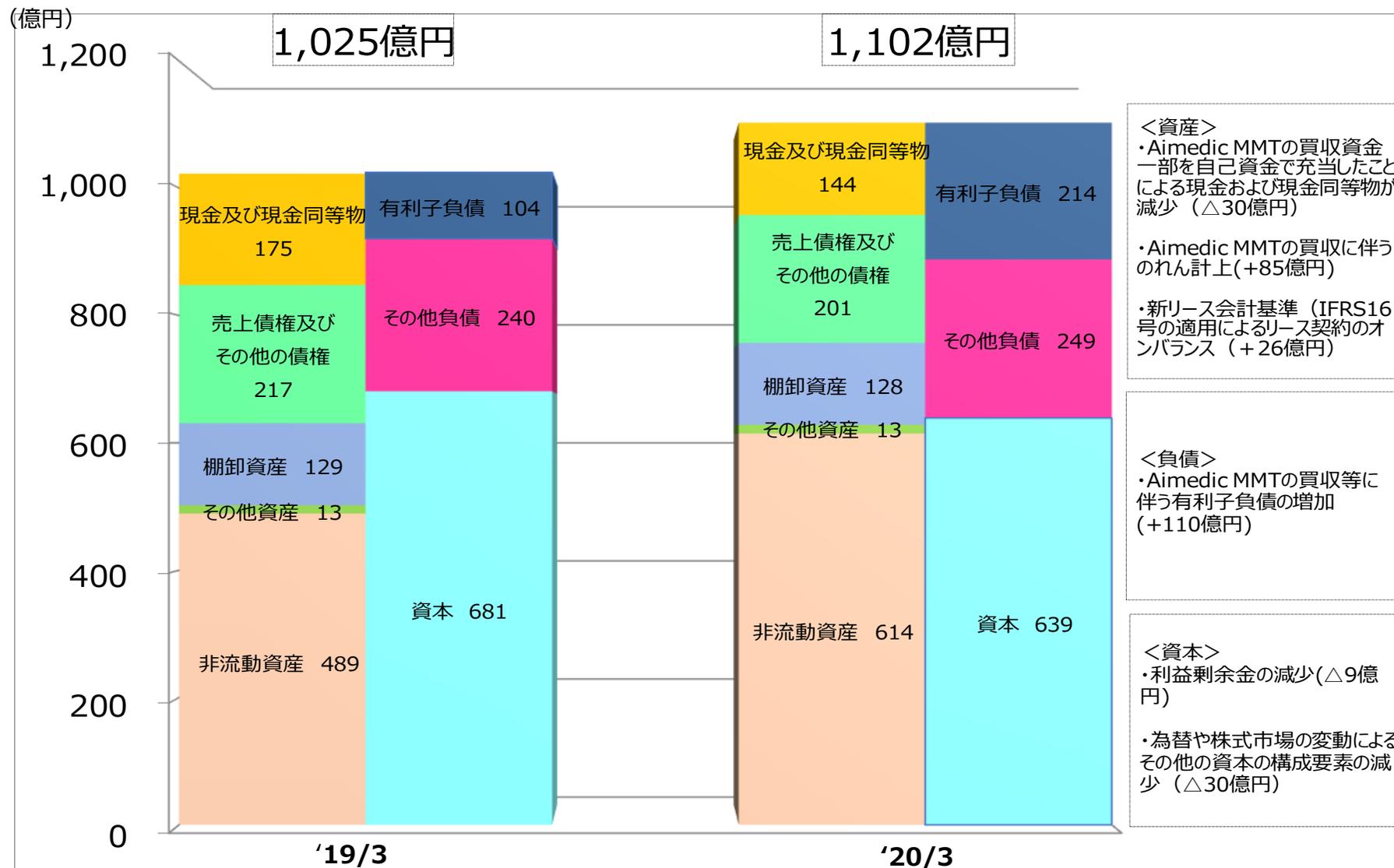


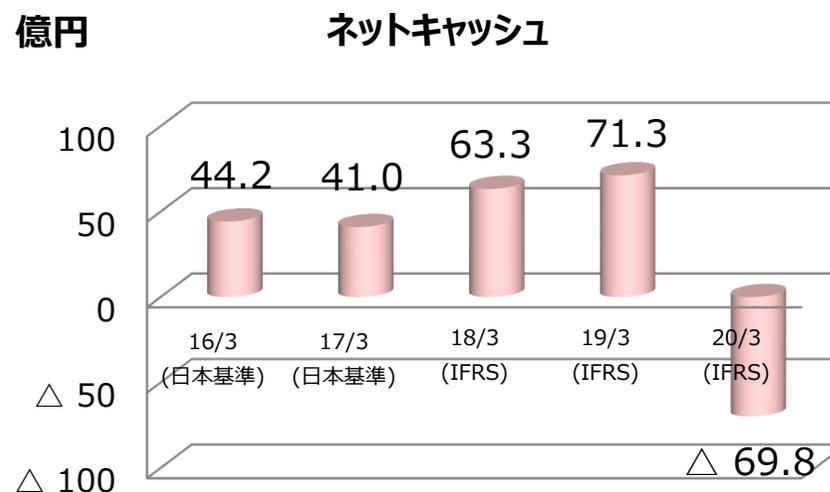
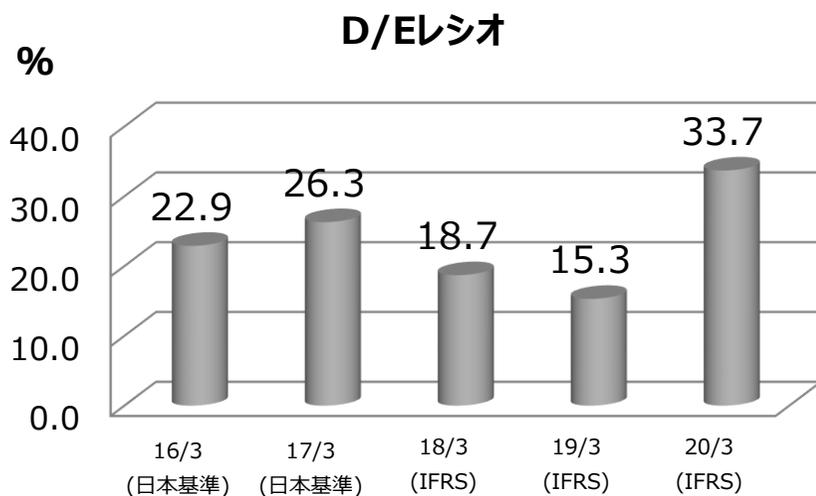
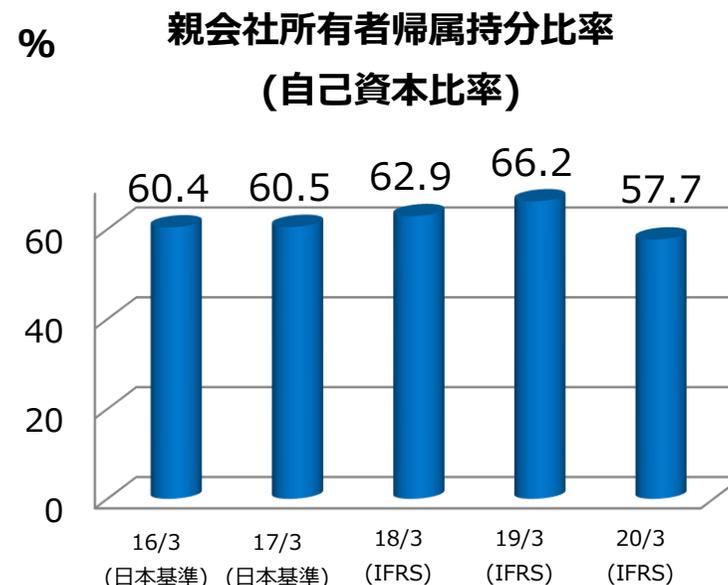
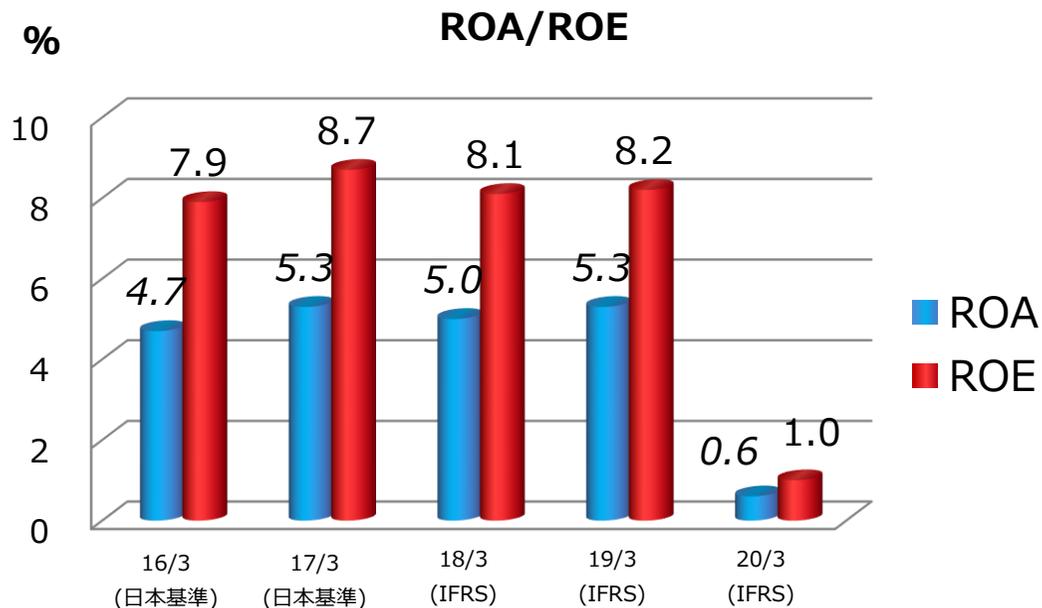
キャッシュ・フロー（CF）の推移



- ※ 1 17/3期の営業活動によるCFは、売上債権の流動化を停止した影響により、23億円減少しております。
- ※ 2 19/3期の営業活動によるCFは、下請法運用基準見直し対応による現金支払の増加により、14億円減少しております。
- ※ 3 20/3期の投資活動によるCFには、株式会社Aimedica MMTの株式取得による支出（92億円）が含まれております。

連結財政状態計算書





主なトピックス

2019年

5月・医療機器メーカー株式会社Aimedic MMTの
全株式を取得し、子会社化



整形外科向けインプラント等の医療機器を提供する
「株式会社Aimedic MMT」

7月・「NANO KOREA 2019」に出展
・「第2回 5G/IoT通信展」に出展

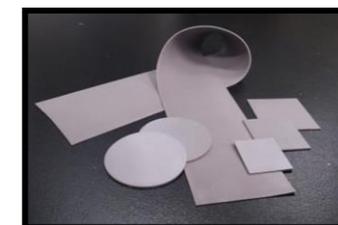


10月・子育てサポート企業として「くるみん認定」を取得
・足利工場「無災害記録370万時間」を達成



5G/IoT通信展
研磨パッド「TOPX®」などを出品

11月・「C-Touch & Display Shenzhen 2019」に出展（中国・深圳）
・「IDTechEx Show! 2019」に出展（米国・カリフォルニア）



NANO KOREA2019
IDTechEx Show! 2019
熱マネジメント関連製品を出品

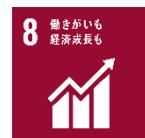
12月・「第10回 高機能フィルム展」に出展（幕張メッセ）
・令和元年度「スポーツエールカンパニー」に認定



C-Touch & Display Shenzhen
曲面对応OCA「Free Crystal®」などを出品

2020年

1月・グループSDGs目標を設定



3月・食品用非付着性ベルト「ミスターNスティック™」販売開始
・超非付着性コンベヤベルト「イージーリリース®NEO」を開発

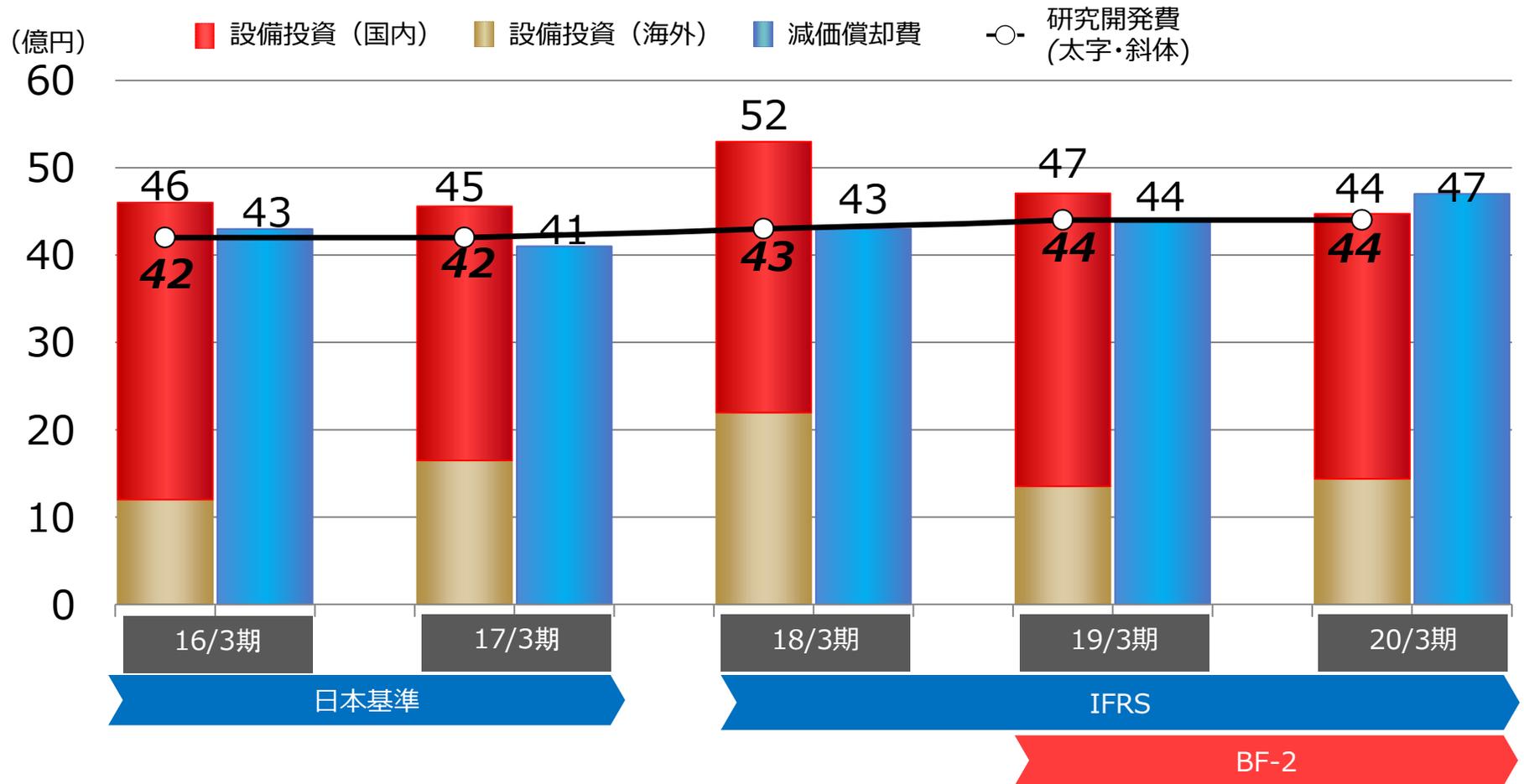


超非付着性コンベヤベルト「イージーリリース® NEO」

Ⅱ．2021年3月期 業績予想

- 2021年3月期の業績予想については、新型コロナウイルス感染拡大が国内外経済に大きく影響を与えており、現段階において合理的に算定・予想することが困難であると判断したことから記載しておりません。
今後、状況が収束し、発表が可能になった時点で速やかに開示する予定です。

設備投資額、減価償却費および研究開発費の推移



※ 1 上記数値には、2019年4月から適用したIFRS16号による影響を含んでおりません。

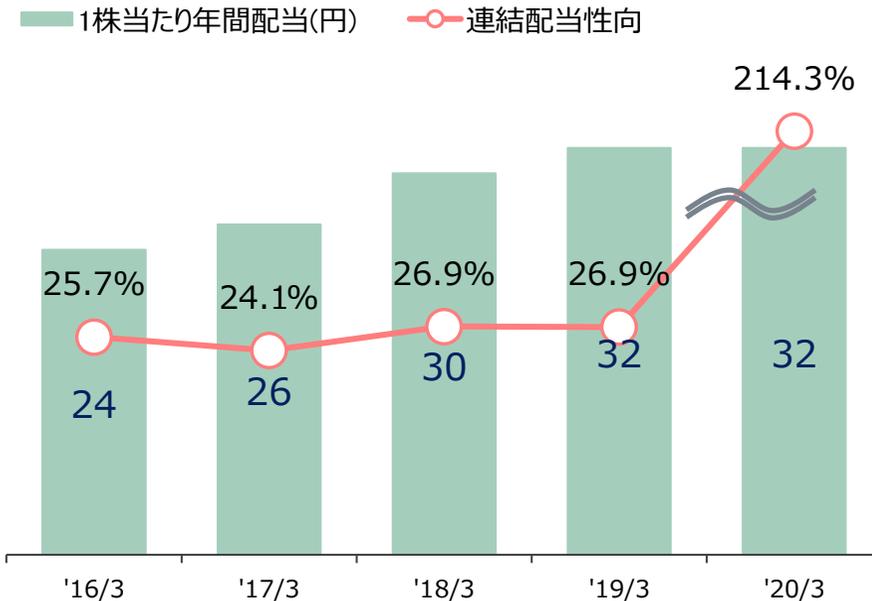
なお、当影響により、20/3期において、設備投資（有形固定資・無形資産の増加額）が約12億円、減価償却費が約13億円、それぞれ増加しております。

※ 2 21/3期の数値は、現時点では未定です。

基本方針

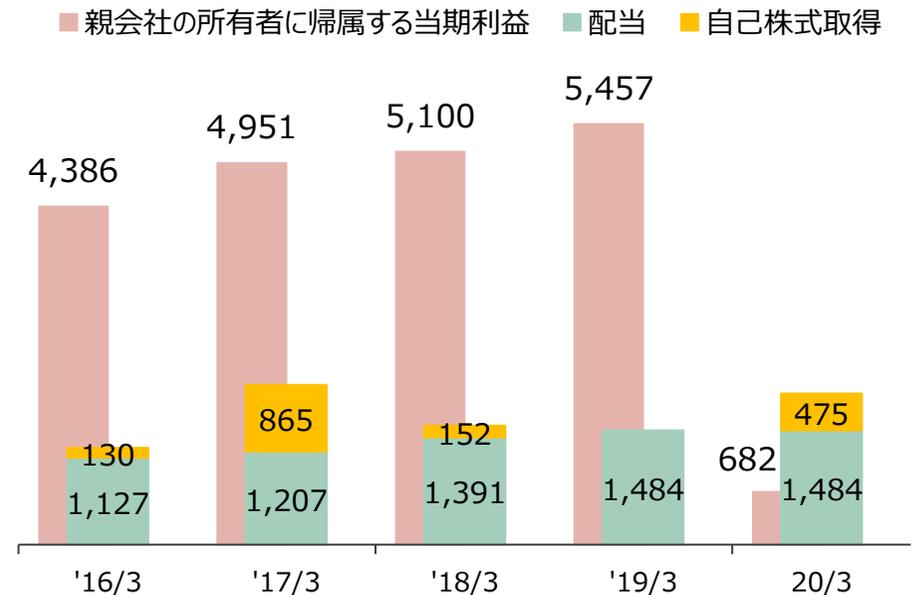
収益および財務状況を配慮しつつ、当面の連結配当性向は30%を目処に安定した利益配当を行うことを目標とし、利益還元の充実に努める

1株当たり年間配当・連結配当性向の推移



株主総還元の推移

(単位：百万円)



- ※ 1 2016年10月1日付にて普通株式2株につき1株の割合にて株式併合を実施しており、1株当たりの年間配当はこの影響を補正した数値を記載しています。
- ※ 2 上記の2018年3月期以降の値は、IFRSに基づきます。なお、2019年3月期以前は、日本基準の利益に基づき配当金額を決定しております。
- ※ 3 2020年3月期の配当金額は、減損損失が一時の会計事象であることから、安定した利益配当の継続を重視し、1株当たり期末配当16円（年間32円）を予定しております。
- ※ 4 2021年3月期の配当予想額は、現時点では未定です。

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。

将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比異なる可能性があることにご留意ください。又、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。